

松山市がすすめる

たからみがき のまちづくり

松山には、野球文化やことばのまちづくりができる文学的土壌など、全国に誇れる宝が数多くあります。松山市では、これまで取り組んできた『坂の上の雲』のまちづくりを継承しながら、「たからみがき」の新しいまちづくりを市民の皆さんと一緒に進めており、重点的な取り組みをキーワードとして表現しています

【た】 広島地域と松山を結ぶ新たな観光ルート提案 旅の魅力「瀬戸内・松山」構想



旅行商品の開発

松山市および船舶会社や交通事業者との連携により、新幹線と航路を組合せ、京阪神より通常の半額程度の価格で瀬戸内エリアを周遊できる「松山・広島割引きっぷ」など新しい旅行商品が誕生し、好評を得ています。



せとうちかいどういちごうせん 瀬戸内海道1号線

瀬戸内海を隔てる海ではなくつなぐ道として捉え、松山と宮島・広島・呉を結ぶ海上ルートを「瀬戸内海道1号線」と命名しました。

「瀬戸内・松山」構想は、瀬戸内海の持つ自然美や歴史文化といった魅力を最大限に引き出し、物語を演出しながら、広島地域と松山の資源を結びつけて、新たな観光ルートを提案するものです。

「瀬戸内海道1号線」が一翼を担う「京都～広島～松山ルート」が国から「新ゴールデンルート」としての推奨を受ける中、2017年は、夏目漱石・正岡子規生誕150年や、えひめ国体・えひめ大会の開催、そして、JR全6社による集中送客キャンペーンである四国DCが実施されるなど、より多くの観光客が本市を訪れることが見込まれています。

今後も、「新ゴールデンルート」が、文字どおり西日本に光り輝くルートとして定着するよう、旅行市場へのプロモーションを展開していきます。

【か】 “昭和の賑わいを求めて”をテーマに北条地域を活性化 風早レトロタウン構想

風早と呼ばれる北条地域は、中世伊予の豪族、河野氏繁栄の足跡が色濃く残る地域です。

「風早レトロタウン構想」は、北条地域全体の持続的な発展を目的に、地域が抱える課題解決に向けた取り組みを進め、活気あるまちづくりをめざしています。

構想の中核エリアに位置付けている鹿島およびJR伊予北条駅前通り周辺では、住民が主体となって数々のにぎわい創出イベントを開催しているほか、広域エリアでは地域資源を活かした散策マップ「風早一茶のみち」を発行するなど、住民と協働し、様々な地域の活性化に取り組んでいます。



「風早一茶のみち」パンフレット



JR伊予北条駅前で行われている「かざはや楽市」

地域住民と協働でイベントを企画実施

平成24年から毎年JR伊予北条駅前通り周辺を会場とし、昭和の雰囲気味わえるイベントを実施しています。また、地域住民の活性化の機運が高まり、JR伊予北条駅前通りでは、おおむね2か月に1回「かざはや楽市」が自主開催されるようになっています。

【ら】「島びとが活き活きと輝く笑顔あふれる里の島」をめざして 愛ランド里島構想

松山市の島しょ部は、有人9島（興居島、釣島、睦月島、野忽那島、中島、怒和島、津和地島、三神島、安居島）と多数の無人島で構成されており、豊かな自然と悠久の歴史に育まれた島固有の誇れる伝統や文化など、魅力ある地域資源が数多く残っています。

しかしながら、近年では、産業の低迷などにより過疎化や高齢化が進行し地域の活力が衰退しています。そこで、島しょ部の活性化と持続的な発展を図ることを目的として「愛ランド里島構想」を策定しました。

この構想では、「島びとが活き活きと輝く笑顔あふれる里の島」をめざし、島に住む人にとって「暮らしやすい島」を、また島外に住む市民からも親しまれ愛される「市民の第二のふるさとの島」として感じていただけるようなまちづくりを推進しています。



しまぼうと子ども達



お試し移住施設「ハイムインゼルごこしま」



【しまのわ学校体育祭inごこしま】

【み】名物・朝市など地域資源を活用し、まち全体を活性化 三津の活性化

三津浜地区は、江戸時代に松山藩の御船手組（船奉行所）が置かれた港町で、今も漁業や商業で栄えた面影が多く残っています。

古民家や蔵のある町並みを活かして移住や出店を促す「町家バンク」の運営や、ご当地グルメ「三津浜焼き」のブランド化、水産市場でのイベント「旬・鮮・味まつり」「シーフードバーベキュー」を活用した食文化の推進など、地域住民が主体となって地域資源を活かした新たなにぎわいの創出に取り組み、同地区全体の活性化を進めます。



明治時代の三津の朝市



【旬・鮮・味まつり】



ご当地グルメ「三津浜焼き」



三津浜にぎわい創出事務所 三津ハマル



整備されたロープウェー通り



花園町で行われた社会実験時のイベント



花園町通り

【か】新たなシンボルロードをめざして 街路整備

中心市街地では、歩行回遊を支援・促進するための道路空間の再配分や、沿道への様々な仕掛けによる都市改変により、「歩いて楽しい健康増進」のまちづくりを進めます。

その中で、松山市駅と城山公園を結ぶ花園町通りにおいて道路空間を再配分することにより、快適な歩行空間や、にぎわい空間を創出し、路面電車やイチョウ並木を生かした風情ある道路空間を作り出します。



【き】前向きな気持ち

これからのまちづくりで大事なことは、市民の皆さんに自分たちの住むまちに愛着や誇りを持っていただくことです。

「たからみがき」のまちづくりは、松山にあるたくさんの宝を知っていただくとともに、それを磨いていくことを市民の皆さんに伝わりやすくメッセージにしたもので、一人でも多くの方が前向きな気持ちを持ち、積極的にまちづくりに参画していただきたいと思います。